

旧横浜ゴム平塚製造所記念館 八幡山の洋館

平塚市



創建は明治45年(1912)、平塚に日本火薬製造株式会社を建設するため来日したイギリス人技師のための施設です。古典的な塔屋を戴いた美しいバランスの良い主屋の応接室に、ビリヤード室と食堂を備えたこじんまりとした平屋の洋館で、東面と南面をベランダで囲んだコロニアル風の造りとなっています。全室の窓は上げ下げ窓で、ビリヤード室は二つのベイウインドウが設けられているのも大きな特徴です。大正8年(1919)イギリス人技師たちが帰国した後、会社は日本海軍の火薬廠となり、洋館は海軍の将校クラブとして大戦終結まで使用されました。大正12年

(1923)9月の関東大震災、昭和20年(1945)7月の平塚大空襲にも破壊を免れ、昭和25年(1950)からは横浜ゴム株式会社の迎賓館として使用されましたが、老朽化によりその役割を終え、平成14年(2002)平塚市に無償譲渡されました。国の「登録有形文化財」として登録後解体、平成21年現在地へ再建され、新たな文化財としての使命を帯びて、現在、一般公開されています。

平塚八幡宮に隣接して楠やヒマラヤ杉の大きな森に囲まれ、ばら園の中に建つピンクの壁と緑の屋根の潇洒なこの洋館は、古風で可憐な雰囲気。お伽話の雰囲気を味わっておくつろぎ下さい。また、木造の天井の高い洋館での音楽会は、柔らかい濁りのない響きで、サロンコンサートにもぴったりですし、朗読や講演会、小さな集まりなど、さまざまにご利用いただくこともできます。少し日常から離れてゆったりとした時を過ごすにふさわしい場所です。

(2018年9月現在)

所在地 平塚市浅間町 1-1

八幡山公園内

建物概要

- ・構造 木造平屋建塔屋付き
- ・屋根 カラー銅板平葺
- ・外壁 ドイツ下見張

建築面積 212,83㎡

建築年 明治45年(1912年)

施工 清水建設(旧小川組)

所管 平塚市教育委員会社会教育課

管理者 旧横浜ゴム平塚製造所記念館運営管理共同事業体(指定管理者)

交通

平塚駅北口徒歩15分。

神奈川中央交通バスは平塚駅北口7番(平88系除く)又は2番の乗り場で乗車、「市役所前」下車すぐ



Gallery

